

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 4 年 9 月 20 日 (2022.9.20)

【公開番号】特開 2022-48153 (P2022-48153A)

【公開日】令和 4 年 3 月 25 日 (2022.3.25)

【年通号数】公開公報 (特許) 2022-053

【出願番号】特願 2021-213604 (P2021-213604)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/63 (2006.01)

10

C 1 2 N 5/0783 (2010.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/17 (2015.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

C 1 2 N 15/13 (2006.01)

C 1 2 N 15/24 (2006.01)

C 1 2 N 15/62 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/63 Z Z N A

20

C 1 2 N 5/0783

C 1 2 N 5/10

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 35/17 Z

A 6 1 P 35/02

C 1 2 N 15/13

C 1 2 N 15/24

C 1 2 N 15/62 Z

【手続補正書】

30

【提出日】令和 4 年 9 月 9 日 (2022.9.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シクロホスファミド又はフルダラビンと併用して投与される、

キメラ抗原受容体 (CAR)、インターロイキン 7、及び CCL19 を発現する T 細胞と、薬学的に許容される添加剤とを含有する抗がん剤。

40

【請求項 2】

T 細胞に、CAR をコードする核酸、インターロイキン 7 をコードする核酸、及び CCL19 をコードする核酸を含有し、前記 CAR をコードする核酸が、CD20、EGFR、FITC、CD19、CD22、CD33、PSMA、GD2、EGFR variant、ROR1、c-Met、HER2、CEA、メソテリン、GM2、CD7、CD10、CD30、CD34、CD38、CD41、CD44、CD74、CD123、CD133、CD171、MUC16、MUC1、CS1 (CD319)、IL-13Ra2、BMA、Lewis Y、IgG kappa chain、Folate receptor - alpha、PSCA、又は EpCAM を認識する一本鎖抗体のポリペプチドをコー

50

ドする核酸を含有することを特徴とする、請求項 1 に記載の抗がん剤。

【請求項 3】

CAR をコードする核酸が、4 - 1BB の細胞内領域、及び CD3 の細胞内領域のポリペプチドをコードする核酸を含有することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の抗がん剤。

【請求項 4】

CAR をコードする核酸が、CD28 の細胞内領域のポリペプチドをコードする核酸を含有することを特徴とする請求項 3 に記載の抗がん剤。

【請求項 5】

T 細胞に、自殺遺伝子をコードする核酸を含有することを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の抗がん剤。 10

【請求項 6】

CAR における一本鎖抗体が認識するがん細胞の細胞表面抗原が、CD20、EGFR、FITC、CD19、CD22、CD33、PSMA、GD2、EGFR variant、ROR1、c-Met、HER2、CEA、メソテリン、GM2、CD7、CD10、CD30、CD34、CD38、CD41、CD44、CD74、CD123、CD133、CD171、MUC16、MUC1、CS1 (CD319)、IL-13Ra2、B2M、Lewis Y、IgG kappa chain、Folate receptor - alpha、PSCA、又は EpCAM であることを特徴とする、請求項 1 に記載の抗がん剤。 20

【請求項 7】

がんの治療を必要とする患者にシクロホスファミド又はフルダラビンを用いて処理した後に投与される、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の抗がん剤。